



南平山（なんだいらやま）は日光の川治温泉の近くの山である。標高差が 400m であるので完全な里山である。特に急登といったところもない。前回の飛竜山では筋肉痛が取れるまで 5 日を要したが、今回はその筋肉痛すら感じることも無かった。こういった山に来る人はやはりそれなりの人になるようでいつも合う人たちよりも軟弱と言えるようだ。こんなところでもぼてているバーサマがいた。ちょっとした段差があってもツアーリーダーに手を差し伸べてもらっていた。“よくあんなんで山に来るねー”と言ったら、“あの人いつもあんなですよ”と答えてくれる人がいた。22 人の参加者の内、男 8 人、女 14 人であった。通称ツルベーさん（本名は忘れた）もいた。会話中も“ツルベーさん”と言っても嫌な顔もしない。週 4 日は山登りをしているという、近くの高尾山が多いらしいが。ツアーリーダーは戸村（夫）でサブは中年初心者と思える女性の豊岡さん。